

株主メモ	
事業年度	2月1日から翌年1月31日まで
定時株主総会	毎年4月
基準日	1月31日
剰余金の配当の基準日	1月31日、7月31日(中間配当を行う場合)
1単元の株式数	100株
株主名簿管理人 同事務取扱場所	〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 TEL 0120-094-777(通話料無料)
公告掲載方法	電子公告によりホームページ(https://www.artner.co.jp/) に掲載いたします。ただし、事故、その他やむを得ない事由によって電子公告をすることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。

(ご注意)

- 株主様の住所変更、買取請求その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっておりますので、口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。

『IRメール配信』サービス

Eメールアドレスをご登録いただいた方に「投資家情報(IR)」の更新、決算、ニュースリリース、その他重要事項の最新情報を、Eメールにて配信いたします(無料)。

下記URLまたはQRコードからWebサイトにアクセスしてご登録ください。

<https://www.artner.co.jp/ir/other/mail/>



↑QRコードからアクセス

当社のIR活動が表彰を受けました!

日興アイ・アール株式会社
2021年度全上場企業
ホームページ充実度ランキング
●総合ランキング「最優秀サイト」
●業種別ランキング「優秀サイト」



株式会社ブロードバンドセキュリティ
Gomez IRサイト
ランキング2021
●総合ランキング「優秀企業」銀賞(49位)
●業種別ランキング(サービス業3位)



株式会社 アルトナー

東京本社 〒222-0033 横浜市港北区新横浜 2-5-5 住友不動産新横浜ビル5F
大阪本社 〒530-0005 大阪市北区中之島 3-2-18 住友中之島ビル2F

Webサイト/投資家情報(IR)のご紹介

<https://www.artner.co.jp/>

アルトナー 検索



▲トップページ



▲投資家情報(IR)(トップページ)▶投資家情報(IR)

エンジニアインタビュー等
動画ならではの当社情報を配信中!



▲<https://www.youtube.com/> より

アルトナー公式 検索

UD FONT

森の町内会
間伐に寄与する紙
www.mori-cho.org



61 | 2QIR

株式会社 アルトナー

証券コード: 2163

第61期 IRレポート【中間】

2022年2月1日~2022年7月31日

特集: エンジニア白書 (アルトナーエンジニア アンケート集計結果より)

Thanks to you
60th
Anniversary

Make Value

Engineer Support Company

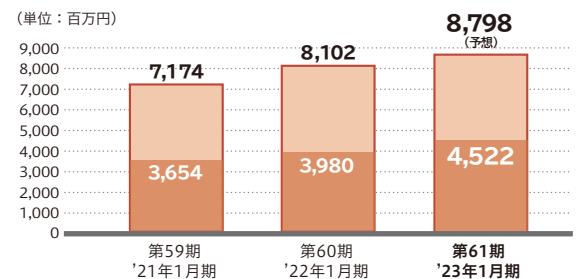
— Create the Future —
ARTNER

※本文及び図表中の金額は、百万円未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

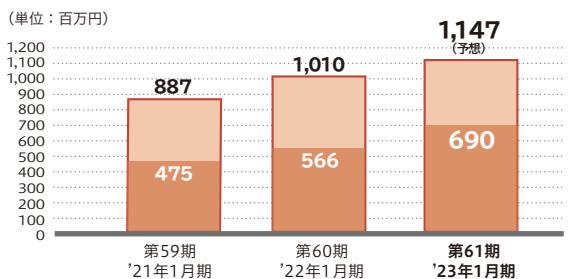
第61期 第2四半期 業績ハイライト

■ 通期 ■ 第2四半期累計期間

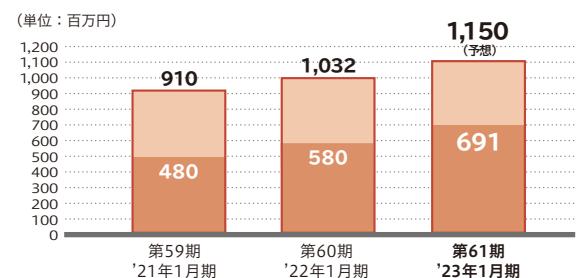
売上高 4,522百万円 13.6%増



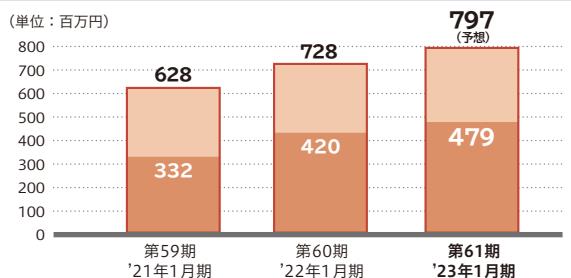
営業利益 690百万円 21.9%増



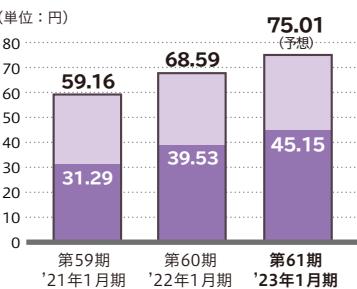
経常利益 691百万円 19.2%増



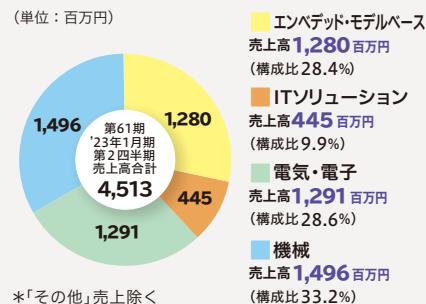
四半期(当期)純利益479百万円14.2%増



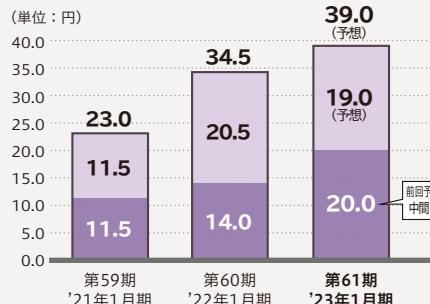
1株当たり当期純利益



第61期 第2四半期 分野別売上*



配当金推移



ROE(自己資本当期純利益率)他 経営指標に関する詳細は ▶ [アルトナーサイトTOP](#) ▶ [投資家情報\(IR\)](#) ▶ [業績・財務情報](#) ▶ [主な経営指標](#)を参照

Message from Our President and CEO

会社設立60周年を迎え、
次世代のために今の責務を果たし、
持続的な成長に向けてチャレンジしてまいります。

第61期(2023年1月期)第2四半期累計期間の業績、
また、第61期(2023年1月期)の業績予想(通期)、
中期経営計画(2023年1月期~2025年1月期)、
上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況について、
ご説明させていただきます。

代表取締役社長

関口相三



第61期(2023年1月期)第2四半期累計期間の市場環境

感染拡大の抑制と経済活動を両立させる状況下で、
「カーボンニュートラル」を中心に自動車関連、
半導体関連の技術者要請が引き続き旺盛。

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の抑制と経済活動を両立させる社会の状況下で、自動車関連メーカーおよび半導体製造装置関連メーカーからの技術者要請が引き続き旺盛でした。特に自動車関連メーカーからの需要は、EVの次世代バッテリーをはじめ、大半が「カーボンニュートラル」関連のプロジェクトでした。当社にはハイバリューグループ、ワイドバリューグループ、プロダクトバリューグループという開発工程の上流から下流に対応するグループがありますが、1つのプロジェ

クトに対して全グループにわたる技術者要請が顕著でした。このような顧客ニーズに、ワンストップで応えられる点も、アルトナーを選んでもいただける理由の1つだと考えております。

第61期(2023年1月期)第2四半期累計期間の業績概要

新卒技術者の配属が前倒しで進捗、
稼働率が高水準で推移。稼働人員が大幅に増加。

新卒技術者の配属がコロナ禍以前の状況にまで回復し、当初の予定より前倒しで進捗し、旺盛なニーズを受けて、稼働率が高水準で推移したことにより、稼働人員が前年同期比で大きく増加しました。技術者単価は、未配属者の配属を優先させたことにより、



前年同期より微減となっております。労働工数は、概ね前年同期レベルで推移しています。継続して拡大に取り組んでいる請負・受託事業に関しては、売上構成比率が8.4%となり、目標としている10%に向けて、順調に成長しています。

これらを踏まえ、売上高は4,522百万円(前年同期比13.6%増)、営業利益は690百万円(前年同期比21.9%増)、経常利益は691百万円(前年同期比19.2%増)、四半期純利益は479百万円(前年同期比14.2%増)となりました。

第61期(2023年1月期)の業績予想(通期)の進捗状況

下期において、経済活動の減速は想定せず。通期業績は、増収・増益の見通し。

第61期の通期業績の見通しに対する第2四半期の業績の進捗は、売上高が51.4%、営業利益が60.2%となり、

順調に推移しております。また、社会全体が適切な感染対策を講じつつ経済活動を行うウィズコロナを進める中、下期において、経済活動が減速することは想定しておりません。稼働率も、第2四半期と同様に高水準を維持できるのではないかと考えております。

これらを踏まえ、第61期の通期業績の見通しは、売上高は8,798百万円(前期比8.6%増)、営業利益は1,147百万円(前期比13.6%増)、経常利益は1,150百万円(前期比11.4%増)、当期純利益は797百万円(前期比9.4%増)の増収・増益を見込んでおります。

中期経営計画(2023年1月期～2025年1月期)の進捗状況

技術者数1,600人達成に向け、新卒採用の進捗に加え、キャリア採用の拡大に注力。

今回の中期経営計画では、経営目標数値として技術者数1,600人を掲げて、取り組んでおります。第2四半期末の時点で技術者数1,192人となっており、目標達成に向けて順調に進捗しております。

新卒採用に関しては、2023年4月入社160人を目標に積極的な採用活動を行っております。当社は、これまで、新卒採用を中心に活動してきましたが、今回の中期経営計画では、新卒採用とキャリア採用を概ね1対1の比率に引き上げていくことを目標としています。第2四半期のキャリア採用実績は25人となり、前年同期比で約2倍となっております。目標数値の達成に向けて、ノウハウを構築していくことが重要と捉えています。

離職率につきましては、ウィズコロナへの移行もあり、コロナ禍を要因とする離職が減少したことで、改善傾向にあります。

上場維持基準の適合に向けた計画に基づく進捗状況

東証プライム市場の上場維持基準の適合に向け、中計3か年の中で様々な取り組みを進捗。

当社の東証プライム市場の上場維持基準の未充足項目である流通株式時価総額100億円達成に向けて、中期経営計画3か年の中で様々な取り組みを進めております。

流通株式比率に関して、売出しを4月1日の決議を受けて実施し、目標として設定していた70%への引き上げを達成いたしました。

特に、1株当たり当期純利益につきましては、業績向上のための様々な施策を実施し、中期経営計画の業績目標と連動させて達成してまいります。

これらの取り組みを市場に評価していただき、当社の株価を目標株価に近づけていきたいと考えております。

株主・投資家の皆様へ

設立60周年から持続的な成長に向かって、業界No.1高付加価値の技術者集団へ。

株主・投資家の皆様には平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

当社は、2022年9月18日に会社設立60周年を迎えることができました。これもひとえに皆様のご支援の賜物と心より感謝申し上げます。

当社は、業界内で自他共に認めるNo.1高付加価値の技術者集団のポジションを確立するため、中期経営計画で様々な目標を掲げております。また、東証プライム市場の

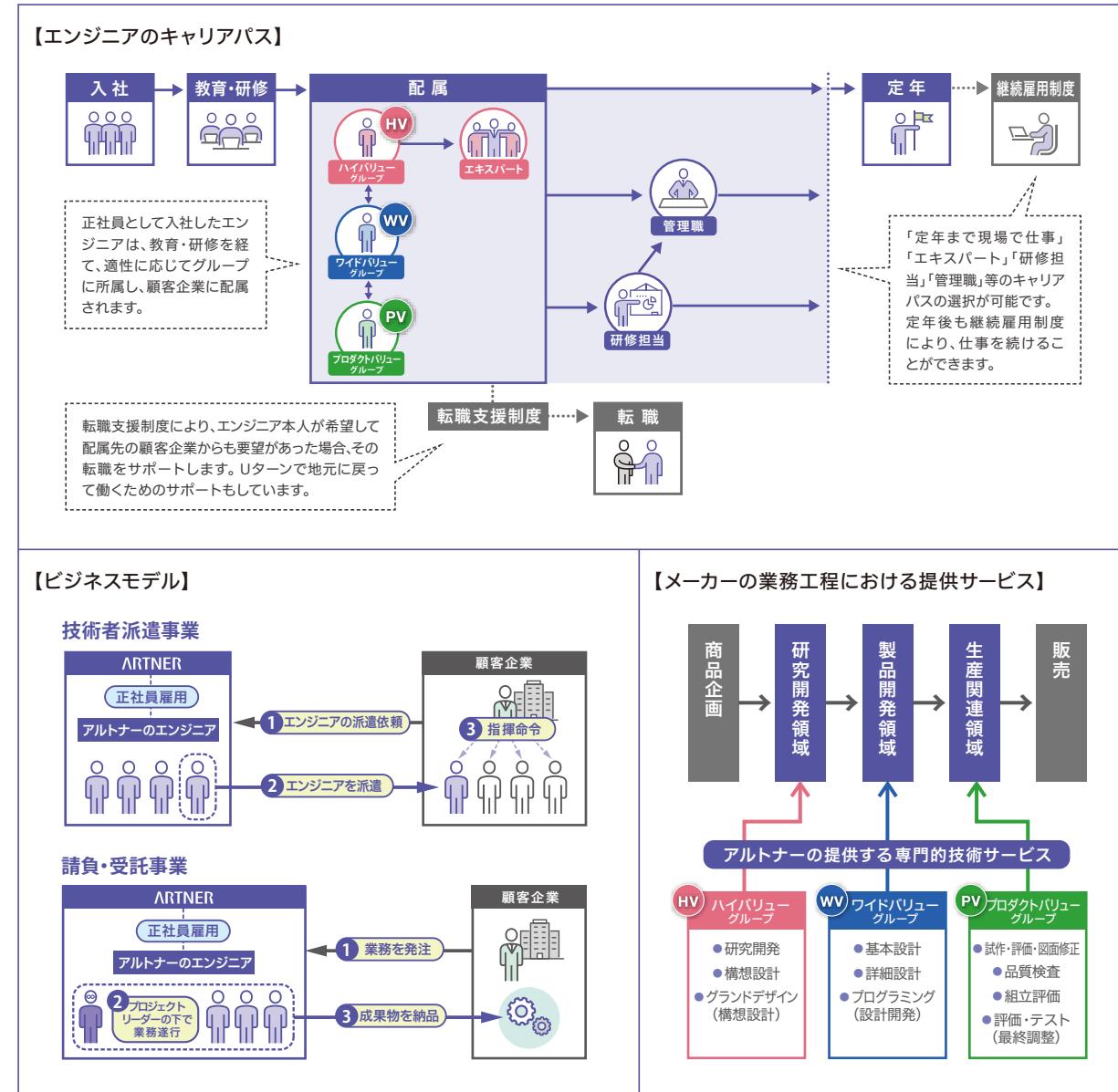


上場維持基準の未充足項目の達成も必須課題と位置付けております。これらの企業課題の必達に向けて、全社員一丸となって取り組んでまいります。

当社は、株主・投資家の皆様に安定的な配当を実施することを、経営の重要課題に置いており、配当性向を50%に引き上げております。第61期の中間配当は、当初の予想より**1.0円増配**し、20.0円となりました。期末配当は19.0円を予定し、年間配当は39.0円を予定しております。今後とも、皆様の継続的なご理解とご支援、ご協力を賜りますよう、何卒宜しく願い申し上げます。

キャリアパス & ビジネスモデル

技術開発の強力なパートナーとして、多様なニーズにお応えいたします。



アルトナーニュース

パーパス(存在意義)を策定いたしました。

当社は、事業活動を通じて社会的課題の解決に貢献し、企業価値を向上させ、ステークホルダーの皆様へ還元していくことで、持続的成長および次世代成長の基盤構築を進めてまいります。そのため、この度、当社の社会的な存在意義を対外的に明示したパーパスを策定いたしました。

パーパス(存在意義)に関する詳細は
▶アルトナーサイト TOP ▶会社案内▶パーパスを参照

日本が世界に誇る財産である エンジニアの成長、自己実現をサポートする。

資源が乏しい日本において、エンジニアは世界に誇る財産です。アルトナーは、エンジニアの成長、自己実現をサポートするプラットフォームです。アルトナーは、エンジニアをアルトナーの財産としてだけでなく、日本の共有財産と捉えて、育てていきます。

人材の流動化やダイバーシティなど、労働を取り巻く環境、働く意識が急速に変化する中、アルトナーは、エンジニアの働く幸福を追求し、「エンジニアの生き方」の新しいモデルを創ります。

マテリアリティ(重要課題)を特定いたしました。

当社では、ステークホルダーの関心や社会的課題を認識するとともに、当社の経営への影響を踏まえ、優先的に取り組むべきマテリアリティ(重要課題)を8つに特定いたしました。今回、特定したマテリアリティの重要性を認識したうえで、課題解決に向けた実効性のある経営、事業活動に取り組んでまいります。

マテリアリティ(重要課題)に関する詳細は
▶アルトナーサイト TOP ▶サステナビリティ▶マテリアリティ(重要課題)を参照

8つのマテリアリティ (関連する社会的課題)

Environment 環境	1 エネルギー効率の改善、使用量の削減 2 事業を通じたカーボンニュートラルへの貢献
Social 社会	3 雇用を通じた社会的課題の解決 4 人権の尊重 5 ダイバーシティ & インクルージョンの推進 6 人材の育成と確保
Governance ガバナンス	7 コーポレートガバナンスの強化 8 コンプライアンス経営の推進

TCFD(気候関連財務情報開示タスクフォース)※の提言への賛同を表明いたしました。

当社は、気候変動問題を重要課題として位置付け、持続可能な社会を目指して、TCFD開示のフレームワークに沿った情報開示に取り組んでまいります。

TCFDに関する詳細は
▶アルトナーサイト TOP ▶サステナビリティ▶TCFDを参照



※ Task Force on Climate-related Financial Disclosures の略
金融安定理事会 (FSB) により、気候関連の情報開示及び金融機関の対応をどのように行うかを検討するため、設立されたタスクフォース。

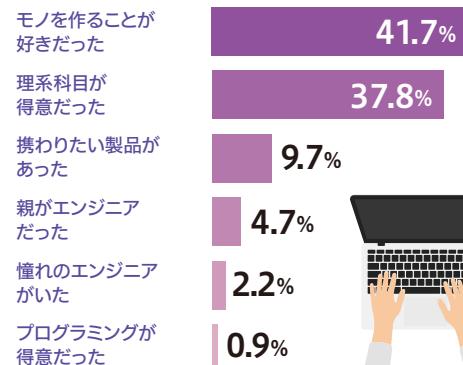
特集

エンジニア白書(アルトナーエンジニア アンケート集計結果より)

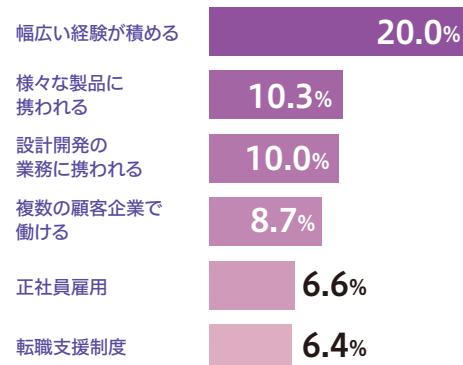
当社では、設立60周年を機に、エンジニアの考え方や意識を知り、情報を共有するために社内のエンジニアにアンケートを実施いたしました。寄せられた回答の中から、一部を紹介いたします。

※アンケートは2022年6月実施。(複数回答)は回答として選択された上位の項目。(自由回答)は、回答の中からピックアップして掲載しています。

エンジニアを志したきっかけ (複数回答)



入社を決め手 (複数回答)



業務の中でやりがいを感じる時(技術分野別) (自由回答)

エンベデッド・モデルベース

- 与えられた課題に対して、班のメンバーと意見を出し合い、解決に向かっていく時。
- お客様に来てくれて良かったと言われた時。
- 業務に対して改善策を提案して、それが採用された時。



ITソリューション

- 自分の携わった製品・システムが世間で活用されているのを見た時。
- 会社の未来に関わる企画に上流から携わり、自分が貢献していると感じる時。
- 考えた設計通りにプログラムを作成して理想動作を確認できた時。



電気・電子

- 世界一のシェアを誇るメーカーで製品開発に携われる時。
- 自分が設計した基板が搭載された製品が販売されて社会の役に立っていると感じられた時。
- 製品の設計に関わることで電気回路の知識が身につく時。



機械

- 最先端の研究開発に携われる時。
- 図面を書いて製品の完成の一翼を担うことができた時。
- 自分が携わった製品や装置が世に出回った時やエンドユーザーが喜んで使っているところを見た時。



エンジニアとしての目標や夢(技術分野別) (自由回答)

エンベデッド・モデルベース

- より多くの開発環境やソフトを身につけ、様々なプロジェクトに携わること。
- 常にスキルアップをしていくことを忘れない、向上心のあるエンジニアになりたい。
- 自動運転開発や研究に携わる。

ITソリューション

- システム開発の上流・下流すべての工程で高い水準の仕事ができるエンジニア。
- 生涯現役でいられるような技術を身につけること。
- エンジニア関連の資格取得とチーム内で頼られるレベルのスキルの習得。

電気・電子

- 電気自動車開発に関わり、その製品が市場に出る。
- これからたくさん経験を積み、部下をもってメンタル、仕事の的にも育てて成長させていきたい。
- 最先端の技術に携わり、世界を変えるようなものを作りたい。

機械

- 社会に貢献できる製品を作る。
- この人にならすべて任せられると言われる人材になること。
- 複数の業界で経験を積んで幅の広いエンジニアになること。



自分の性格 (複数回答)



アルトナーの特徴を一言で(社風/雰囲気/DNA) (複数回答)



スキルアップのためにしていること (複数回答)

- ① インターネットでの情報収集
- ② 業務の中でスキルを磨く
- ③ 専門書や雑誌での情報収集
- ④ 自宅でコツコツ勉強
- ⑤ 社内の勉強会に参加
- ⑥ オンライン講座などを受講
- ⑦ 自宅で週末にまとめて勉強

設立60周年記念サイトを公開しております。
<https://www.artner.co.jp/60anniversary/>
 上記サイト内「エンジニア白書」では、今回紹介した以外のアンケート結果も掲載しております。またアルトナーの沿革を振り返る「60年の歩み」なども掲載しておりますので、ぜひアクセスしてみてください。



要約財務諸表

貸借対照表(要旨)		(単位:百万円)	
科 目	第60期 前事業年度 2022年1月31日	第61期 当第2四半期 会計期間 2022年7月31日	
資産の部			
流動資産	4,615	5,009	
固定資産	473	497	
有形固定資産	82	85	
無形固定資産	37	35	
投資その他の資産	353	376	
資産合計	5,088	5,507	ポイント①-A
負債の部			
流動負債	927	1,031	
固定負債	579	631	
負債合計	1,506	1,662	ポイント①-B
純資産の部			
株主資本	3,577	3,839	
資本金	238	238	
資本剰余金	168	168	
利益剰余金	3,171	3,433	
自己株式	△0	△0	
評価・換算差額等	4	4	
その他有価証券評価差額金	4	4	
純資産合計	3,582	3,844	ポイント①-C
負債純資産合計	5,088	5,507	

ポイント① 貸借対照表

- ①総資産は、売上債権、現預金の増加により、前事業年度末に比べ418百万円増加。
- ②負債は、未払消費税等の減少があったものの、預り金、退職給付引当金の増加により、前事業年度末に比べ156百万円増加。
- ③純資産は、利益剰余金の増加により、前事業年度末に比べ261百万円増加。

ポイント② 損益計算書

- ①技術者派遣事業にて、技術者単価、労働工数が前年同期より微減となったものの、技術者数が前年同期を上回り、稼働率が高水準で推移したことにより、稼働人員が前年同期を上回る。これらの結果、売上高は前年同期比13.6%増の4,522百万円。
- ②利益面においては、当社は技術者の労務費に関して、顧客企業に配属前の未配属者は販売管理費で計上し、配属後は売上原価で計上しており、未配属者の配属の進捗により、販売管理費の労務費が減少し、売上原価が増加。一方、販売管理費に関して、労務費は減少したものの、採用・営業活動の回復に伴う求人費、旅費交通費等の増加により、微増。これらの結果、営業利益は前年同期比21.9%増の690百万円、経常利益は前年同期比19.2%増の691百万円、四半期純利益は前年同期比14.2%増の479百万円。

※本文及び図表中の金額は、百万円未満を切り捨てているため、内訳の計と合計が一致しない場合があります。
また、構成比(%)は、小数点第二位で四捨五入しているため、内訳の比率の合計が100.0%にならない場合があります。

損益計算書(要旨)		(単位:百万円)	
科 目	第60期 前第2四半期 累計期間 2021年2月1日から 2021年7月31日まで	第61期 当第2四半期 累計期間 2022年2月1日から 2022年7月31日まで	
売上高	3,980	4,522	ポイント②-A
売上原価	2,478	2,890	
売上総利益	1,502	1,632	
販売費及び一般管理費	935	941	
営業利益	566	690	ポイント②-B
営業外収益	14	1	
営業外費用	0	0	
経常利益	580	691	ポイント②-C
特別利益	25	-	
特別損失	0	-	
税引前四半期純利益	605	691	
法人税、住民税及び事業税	198	225	
法人税等調整額	△13	△13	
四半期純利益	420	479	ポイント②-D

キャッシュ・フロー計算書(要旨)		(単位:百万円)	
科 目	第60期 前第2四半期 累計期間 2021年2月1日から 2021年7月31日まで	第61期 当第2四半期 累計期間 2022年2月1日から 2022年7月31日まで	
営業活動によるキャッシュ・フロー	326	401	ポイント③-A
投資活動によるキャッシュ・フロー	36	△21	ポイント③-B
財務活動によるキャッシュ・フロー	△121	△215	ポイント③-C
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	241	163	ポイント③-D
現金及び現金同等物の期首残高	3,019	3,554	ポイント③-E
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,261	3,718	

ポイント③ キャッシュ・フロー計算書

- ①当第2四半期会計期間末における現金及び現金同等物は、前事業年度末に比べ163百万円増加。
- ②営業活動CFは、売上債権の増加、法人税等の支払があったものの、税引前四半期純利益、退職給付引当金の増加があったことにより、401百万円のプラス。
- ③投資活動CFは、敷金及び保証金の差入、有形固定資産の取得による支出により、21百万円のマイナス。
- ④財務活動CFは、配当金の支払により、215百万円のマイナス。

会社・株式情報 (2022年7月31日現在)

会社概要			
名称	株式会社アルトナー	研修拠点(LC)	東日本/西日本
設立	1962年9月18日(昭和37年9月18日)	事業内容	1)ソフトウェア 2)電気・電子 3)機械 上記分野の基礎研究、設計開発、及び開発技術等の周辺業務
代表者	代表取締役社長 関口 相三	社員数	1,308人
株式	東京証券取引所プライム市場 (証券コード:2163)	許可番号	労働者派遣事業(派27-020513) 有料職業紹介事業(27-ユ-020355)
資本金	2億3,828万4,320円		
本社	東京/大阪		
事業拠点	横浜/大阪/宇都宮/名古屋		

役員一覧

代表取締役社長	関口 相三
取締役	張替 朋則
取締役	奥坂 一也
取締役	佐藤 宗
取締役	江上 洋二
取締役(常勤監査等委員)	寺村 泰彦
取締役(監査等委員)	森井 眞一郎
取締役(監査等委員)	野村 龍一郎

株式の状況

発行可能株式総数	36,000,000 株
発行済株式の総数	10,627,920 株
株主数	9,723人

大株主の状況

氏名または名称	所有株式数(株)	割合(%)※
株式会社関口興業社	2,126,000	20.00
アルトナー従業員持株会	982,048	9.24
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	583,300	5.48
大阪中小企業投資育成株式会社	480,000	4.51
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	168,000	1.58
張替 朋則	140,840	1.32
STATE STREET BANK AND TRUST CLIENT OMNIBUS ACCOUNT OMO2 505002 (常任代理人 株式会社みずほ銀行決済営業部)	140,000	1.31
BBH FOR FIDELITY LOW-PRICED STOCK FUND (PRINCIPAL ALL SECTOR SUBPORTFOLIO) (常任代理人 株式会社三菱UFJ銀行)	119,840	1.12
奥坂 一也	115,380	1.08
JPMorgan証券株式会社	91,847	0.86
合計	4,947,255	46.56

※発行済株式(自己株式を除く。)の総数に対する所有株式数の割合

株式の分布状況

